様式第8　事業費決算額調書

平成○○年度事業費決算額調書

(単位：円)事業主体名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

歳出										国の歳出		歳入			摘要
予算科目	予算現額		支出済歳出額		翌年度への繰越額		不用額		国庫補助対象以外の内容	予算科目	交付決定額(繰越承認額)	予算科目	予算現額	収納済歳入額	
		うち国庫補助対象分		うち国庫補助対象分		うち国庫補助対象分		うち国庫補助対象分							
(記載例) 5　都市計画費 1　都市計画総務費 〔都市計画指導監督事務費〕 2　土地区画整理費 〔組合施行土地区画整理事業費〕 3　街路事業費 〔都市計画街路事業費〕 4　公園費 〔都市公園整備事業費〕										・ 指導監督事務費 組合区画整理事業費補助 街路事業費補助 ・ 公園事業費補助		国庫補助金 土木費国庫補助金 ○○○			

(備考)　1　本表は事業主体の歳出予算科目の順に記載すること。

2　「科目」欄は、事業主体の歳出歳入予算の項、及び目を記入すること。ただし、経理を明確にするため、必要に応じて節までを記入すること。((例)下水道事業費)

3　金額はすべて最終の額とすること。

4　歳出予算現額は繰越事業費繰越額を、下段〔　〕内書として記入すること。

5　国の歳出に係る「予算科目」欄は事業主体の「予算科目」欄に対応して記載すること。

6　「交付決定額」は当該年度における国庫補助金の交付決定額を実数で記入し、翌年度への繰越がある場合には、その額を下段(　)内書をもって附記すること。

7　歳入欄の「予算現額」及び「収納済歳入額」には繰越事業費繰越財源充当額を下段〔　〕内書として記入すること。